

至 急

令和2年3月31日

草津栗東医師会会員の先生方

一般社団法人草津栗東医師会
会長 中嶋 康彦

先生方におかれましては、日々の診療お疲れ様です。ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症への対応に関しましても、大変なご心配とご苦勞をおかけしております。滋賀県においても今後感染者は増加していくと思われ、また現状で近隣の大阪、京都において感染者が増加していることから、この湖南地域においても、熱発+呼吸器症状で我々の診療所を受診され、新型コロナウイルス感染症を念頭において(心配しながら)診療されているケースが増えていると思われま。仮に新型コロナウイルス感染症であっても、多くの症例では風邪様症状のみで、軽快していくとされていますが、中に肺炎を発症し重症化する例があり、これら重症例を適切な治療につなげていくことが、我々診療所の重要な役割です。

そんな中で、昨今比較的軽症の熱発+呼吸器症状患者を、この地域における感染症指定病院である済生会滋賀県病院に、帰国者・接触者相談センターを通さず、済生会病院の病診連携を通して紹介されるケースが急増し、済生会病院の受け入れ態勢が逼迫し、大変困っておられます。帰国者・接触者相談センターに相談しても埒が明かない云々、という事情も良く分かりますが、やはり新型コロナウイルス感染症が強く疑われ、かつ肺炎様の症状ないし所見がある場合は、相談センターを介しての紹介を徹底していただき、比較的軽症例については、いずれにしても現状ではPCR検査の対象にはなりませんので、対症療法+自宅での療養、コロナの可能性を説明し、周りに感染させないような配慮、症状増悪するようなら相談センターへの電話相談をするように指示していただき、慎重に経過観察していただくようお願いいたします。済生会病院が機能破綻したり、医師やスタッフが疲弊して一般の診療業務にも影響が出るようなことがあってはいけませんので、会員先生方の御深慮、御協力をお願いいたします。通常の呼吸器感染症であれば、圏域内の済生会病院以外の各病院も、もちろん診ていただける状況ですので、くれぐれも済生会病院への軽症呼吸器症状の患者の集中を避けるよう、重ねてお願いいたします。

緊張を強いられる診療が続きますが、先生方自身や、診療所スタッフの安全を守り、地域医療を守ることが我々の責務ですので、マスク着用、手指衛生の徹底、呼吸器感染症疑いの患者さんをできるだけ他の患者さんやスタッフと近接させない、などの配慮を継続・徹底していただきますようお願いいたします。

以 上